

園内研修情報

保育士の保育実践力を向上

良好な職員風土の醸成

園の保育の質の向上



人材育成ニュース

- ・各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力
- ・広島市乳幼児教育保育アドバイザー

1「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」の活用

本市内に所在するS保育園では、年内に3回園長と保育士が様式を用いて面談を行います。

様式には、年度当初に園長から保育士に期待することや、保育者が個人の目標や目標達成に向けた具体的取組を記載する欄、年度末に保育士の自己評価や園長からの評価を記載する欄を設けています。

令和5年度当初の面談では、園長が保育士に「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」※1（以下「必要となる力」という。）を配付し、「必要となる力」の一覧の中の文言を添えて保育士に期待することを伝えました。

また、年度途中の面談では、園長と保育士が年度当初の目標達成に向けた進捗状況の確認を行います。

更に、年度末の面談は、年度内の振り返りを行うとともに、来年度へ向けて、園長が保育士に「必要となる力」の別の区分の文言を伝えるなど、継続して「必要となる力」を活用する予定です。

※1 「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭保育士に必要となる力」はこちらの二次元コードからご覧いただけます。



2 乳幼児教育保育アドバイザーを活用した園内研修



S保育園では、令和5年度からの新たな取組として、職員の保育実践力及び園全体の保育の質の更なる向上に向けて、園内での公開保育を3回実施しました。公開保育は、0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児の区分で行い、各公開保育後にカンファレンスを行っています。

この取組に際し、S保育園では、自園の保育に第三者の視点を取り入れられるよう、乳幼児教育保育アドバイザー※2（以下「アドバイザー」という。）訪問事業を活用し、公開保育及びカンファレンスの際にアドバイザーの支援を受けています。

S保育園からは、この取り組みにより、子どもの姿や保育士の関わり等を語り合い、保育の楽しさや同僚と共感することの良さについて改めて発見でき、アドバイザーの支援が保育の質の向上に向けたものとなったと乳幼児教育保育支援センターに報告がありました。

※2 乳幼児教育保育アドバイザーについては、こちらの二次元コードよりご覧いただけます。



園内研修の日程

（実施した公開保育・カンファレンス）



公開保育※3

- ◇ 0・1歳児クラス 11月28日（火）
- ◇ 2・3歳児クラス 10月 4日（水）
- ◇ 4・5歳児クラス 7月11日（火）

カンファレンス（保育終了後に実施）

- ◇ 0・1歳児クラス 11月28日（火）
- ◇ 2・3歳児クラス 10月 4日（水）
- ◇ 4・5歳児クラス 7月11日（火）



※3 公開保育は、上記の日程だけではなく、園内の全職員が保育を参観し合えるよう、一定の期間を設けた。